

すべての人に「来てよかった」と思われる病院を目指します。

松戸市立総合医療センター 医療連携 News

特
集

血液内科 × 地域医療連携

— CONTENTS —

- 血液内科の特色
- 対象疾患について
良性疾患 から 自家末梢血幹細胞移植 まで 幅広く対応
- 受け入れ エリア制限なし
- ご紹介までの流れ、緊急の場合など
- 患者さんから初診WEB予約いただけます

血液内科部長代理 田波 貴彬

第223号
(2026.9)



血液内科 × 地域医療連携

チーム医療で支える 血液疾患診療

白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液疾患では、専門性の高い薬物療法を安全に継続することが重要です。当科では、医師・病棟看護師・薬剤師・管理栄養士が定期的にカンファレンスを実施し、治療効果だけでなく、感染症リスクや副作用、栄養状態まで多角的に評価しています。



複雑な薬物療法や支持療法についても、薬剤師の専門的な視点を交えながら多職種で検討し、患者さん一人ひとりに最適な治療・ケアを提供しています。地域の先生方からご紹介いただいた患者さんを、多職種がそれぞれの専門性を生かして支えています。



対象疾患 ・ 実績*

* 実績は令和5～7年度の入院患者延べ人数

(人)*

272	悪性リンパ腫
62	多発性骨髄腫
36	急性リンパ性白血病
3	慢性リンパ性白血病
129	急性骨髄性白血病
11	慢性骨髄性白血病
8	骨髄増殖性疾患 (真性多血症、本態性血小板血症、骨髄線維症)
63	骨髄異形成症候群
9	再生不良性貧血
8	免疫性血小板減少症 (特発性血小板減少性紫斑病)

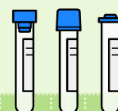
原発性マクログロブリン血症や、赤芽球癆、巨赤芽球性貧血、自己免疫性溶血性貧血、発作性夜間ヘモグロビン尿症 ほか、血栓止血疾患も対応いたします。



造血器腫瘍

血液の疾患

- ✓ 65歳未満の急性白血病では、初発時の遺伝子パネル検査のため、検査実施可能な医療機関へご紹介しております。なお、同種移植を伴わない治療は当院でも対応可能ですので、ご相談ください。
- ✓ 血液浄化療法、移植、CAR-T細胞療法を要する症例は実施可能な施設へご紹介します。
- ✓ 透析症例などで対応が難しい場合もございます。



通院治療室・外来処置室

◆ 通院治療室での化学療法

- ・ 通院可能な患者さんが対象
- ・ 導入は入院、多くのレジメンは20床の通院治療室で実施
- ・ 長時間投与が必要な場合は入院治療に対応
- ・ 近年導入された二重特異性抗体による治療も実施

令和5～7年度
通院治療延べ人数
4,864人



◆ 外来処置室での輸血療法

- ・ 貧血・血小板減少によるQOL低下に対し、外来輸血療法を実施
- ・ 輸血適応・頻度は日本輸血・細胞治療学会ガイドラインを参考に判断



入院治療

◆ 入院病床20床 (内 無菌・準無菌治療室 個室計4床)

- ◆ 感染リスクの高い症例においても安全性の高い治療を実施
- ◆ 70歳以下の多発性骨髄腫に対し自家末梢血幹細胞移植※

※ 幹細胞採取のみ千葉大学医学部附属病院へ依頼し、移植は当院で実施

無菌・準無菌室 計4床(個室)
(ISOクラス1,000 2床、ISOクラス10,000 2床)



血液内科 ご紹介の流れ

当院血液内科の外来受診は紹介状と事前のご予約が必要な完全予約紹介制です

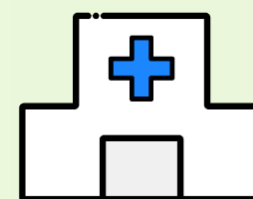
松戸市内はじめ、東葛北部医療圏、近隣市区町村など、エリア制限なく、ご紹介をお受けしています

初診予約専用
☎ 047-712-0685
WEB予約(患者さん)
松戸市立総合医療センター WEB予約

予約受付時に、診療情報提供書をFAXで取り寄せさせていただきます。

事前のご予約

患者さんご本人から初診ご予約いただけます。



緊急の受診は
\\ Dr. to Dr.のホットラインです //
医療機関専用ダイヤル (24時間対応)
047-712-2585
※患者さんには教えないでください。

当院受診



かかりつけ医
高度な検査や治療が必要な患者さんに、当院宛の紹介状をお渡しく下さい。

逆紹介

患者さんの症状が安定しましたら、貴院にてフォローをお願いします。

返書(報告書)
診療情報提供書(郵送)にて当院での診療についてご報告いたします。

開

催

報

告

令和8年度 第1回 地域医療連携セミナー ～地域から選ばれる病院を目指して～

6月24日(木)、今年度第1回地域医療連携セミナーを開催しました。19時からの開催とあり、近隣の病院・クリニックの先生方を中心に32名の皆さまにご参加いただきました。



岡部病院長

講演 I

今年度新たに就任した泌尿器科部長 金坂 学斗が、「泌尿器がん治療を大学病院レベルに」を掲げ登壇。ダヴィンチを用いたロボット支援手術の適応拡大の現状に加え、今年4月より導入した前立腺生検システム「BioJet(バイオジェット)」について紹介しました。



BioJetは、MRI画像と超音波画像を融合し、3Dイメージングガイド下で病変を狙う高精度なターゲット生検を可能とするシステムです。前立腺がんが疑われる患者さんの診断精度向上に寄与する検査として運用しており、前立腺生検をご検討の際は、ぜひ当院泌尿器科へご紹介ください。

講演 II

外科部長 三浦 世樹より、対応疾患やダヴィンチ活用、地域医療との連携についてご説明。特に反応が大きかったのは、外科宛の紹介状をご持参いただいた患者さんは、事前予約がなくても外来受診いただけること。



外科では診療状況に応じて当日対応しており、地域の先生方からのご紹介を積極的にお受けしています。緊急時には医療機関専用ダイヤル(047-712-2585)にて24時間365日、受診や転院のご相談をお受けしています。

最後に

地域連携室長兼脳神経内科主任部長 西村 寿貴より、二次救急にも積極的に対応していること、また地域の先生方との連携をさらに深めていきたいとのメッセージをお伝えしました。

患者さんのご紹介や診療に関するご相談などがございましたら、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。



地域医療連携セミナーは年2回開催しています。第2回は11～12月頃を予定しています。詳細が決まり次第ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



松戸市立総合医療センター
Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1
【地域連携室】電話 047-712-0551

